

作成日 2008年12月01日  
改訂日 2017年04月01日

## 安全データシート (SDS)

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ミリオクロスK

会社名 保土谷建材株式会社

住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目4番1号

担当部門 技術部

電話番号 03-5299-8170 FAX 番号 03-5299-8275

メールアドレス hcp@hodogaya.co.jp

緊急連絡先 03-5299-8170 弊社

奨励用途及び使用上の制限 工業用 (建築用クロス 等)

整理番号 H-1-41

### 2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性：

有害性： 通常の状態では人の健康に対する有害な影響は少ない。

物理的及び化学的危険性：

可燃性物質であり、着火源があれば燃える。

特定の危険有害性： 燃焼・溶融などの高温で一酸化炭素等の有害ガスが発生する可能性がある。

分類の名称 (分類基準は日本方式)： 分類基準に該当しない。

GHS分類： 分類基準に該当しない。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名

一般名 防水材用クロス

成分 含有量 化学式 官報公示整理番号  
(化審法・安衛法)

ポリエチレンテレフタレート	86~88	$[\text{CO}(\text{CH}_2\text{CH}_2)\text{COO}(\text{CH}_2)_2\text{O}]_n$	(7)-1022
エチレン-酢酸ビニル			
アクリル酸エステル共重合体	12~14		既存
酢酸ビニル	1未満	$\text{CH}_2=\text{CH}-\text{OCOCH}_3$	(2)-728
成分	CAS No.	化学物質管理促進法 第1種指定化学物質	労働安全衛生法 第57条の2 第1項 通知対象物
ポリエチレンテレフタレート	25038-59-9	非該当	非該当
エチレン-酢酸ビニル			
アクリル酸エステル共重合体	企業秘にて非公開	企業秘にて非公開	企業秘にて非公開
酢酸ビニル	108-05-4	政令番号 134	該当

#### 4. 応急措置

吸入した場合：

- ・特に危険性がないが、溶融時発生するガスを吸って気分が悪くなった場合は、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・常温の場合は特に危険性はない。
- ・溶融時、皮膚に付着した場合には、直ちに清浄な水で冷やす。
- ・皮膚上の固まった樹脂は、無理に剥がさず医師の診断を受ける。

目に入った場合：

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合：

- ・誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ吐き出させる。不快感が残るようであれば、医師の診断を受ける。

#### 5. 火災時の措置

消火剤： 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火器、大量の水が有効である。

特定の消火方法： 可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。

消火を行う者の保護： 不完全燃焼すると炭酸ガスと水の他に、一酸化炭素などの有害ガスを発生するので消火作業には呼吸器用保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： 人体に対する危険有害性は小さいと考えられる

環境に対する注意事項： 屋外に散乱した場合は、風などで飛び、電線に絡み付く等の二次災害の発生となる恐れがあるため、速やかに集めて処分する。

除去方法： 袋などの入れ物に回収し、安全な場所に移す。

二次災害の防止策： 廃棄物などは、関係法規に基づいて処理をすること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策： 粉塵の発生や溶融を伴う作業をするときは局所廃棄や全体換気を行う

注意事項： 周囲での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものとする。

安全取扱い注意事項

目に入らないように適切な保護具を着用する。

保管：

適切な保管条件

- ・火気、熱源から遠ざけて保管する。
- ・雨水や直射日光を避けるために防水シートで覆うこと。

安全な容器包装材料 特殊包装紙など。

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 取り扱い場所の近くに手洗い・洗眼装置を設け、その位置を表示する。

換気装置を設置する。特に粉塵が発生する場合には局所排気装置を設置する。

管理濃度： 設定されていない。

許容濃度：

日本産業衛生学会（2005年版） 設定されていない。

ACGIH（2005年版） 設定されていない。

保護具

呼吸器用の保護具 必要に応じて防塵マスクを使用。

手の保護具 高温での作業時には、火傷防止の為、保護手袋を使用する。

目の保護具 必要に応じて側板付き普通眼鏡型。

皮膚及び身体の保護具 必要に応じて静電気防止作業衣、安全靴。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：紙管等に巻いた繊維

色： 白色

臭い：かすかな刺激臭

pH：データなし

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲：

融点/凝固点： データなし

沸点： 製品 データなし

初留点： データなし

沸騰範囲： データなし

引火点： 製品 データなし

発火点： データなし

爆発特性：データなし

蒸気圧： データなし

蒸気密度： データなし

蒸発速度： データなし

比重： 1.3~1.4

溶解性： 通常の有機溶媒には溶解しないが、熱したニトロベンゼン、フェノール、メタクレゾール、オルソクロロフェノール、トリフルオロ酢酸、濃硫酸などには溶解する。水に不溶

オクタノール/水分配係数： データなし

分解温度： データなし

その他のデータ： 特になし

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 常温、単独では安定である。

反応性： 高温では一部熱分解する。着火元があれば燃える。

避けるべき材料：水分類。

危険有害な分解生成物：

溶融、燃焼などの高温ではアセトアルデヒド等が発生する。

## 11. 有害性情報

急性毒性等： ポリエチレンテレフタレートに関しては、高分子であり消化器官で吸収されない。また、

懸念される官能基も持たないため、有害性は低いと考えられる。その他、成分に関しては、樹脂化（固体化）された状態でのデータはない。

## 1 2. 環境影響情報

生態毒性：

水生生物有害性：ポリエチレンテレフタレートに関しては、高分子であり消化器官で吸収されない。また、懸念される官能基も持たないため、有害性は低いと考えられる。その他、成分に関しては、樹脂化（固体化）された状態でのデータはない。

残留性／分解性：ポリエチレンテレフタレートに関しては生分解性はなく安定。

生体蓄積性： データなし。

土壤中の移動性： ポリエチレンテレフタレートに関しては、土壤中の移動性は極めて低いと考えられる。

他の有害影響： 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

## 1 3. 廃棄上の注意

廃材料、包装用紙等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類： 設定されていない。

国連番号： 設定されていない。

国内規制： 設定されていない。

輸送の特定の安全対策及び条件：

取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。

## 1 5. 適用法令

廃掃法	産業廃棄物、廃プラスチック類
安衛法 第57条の2第1項(通知)	酢酸ビニル
化学物質管理促進法	酢酸ビニル 政令番号 134
第1種指定化学物質	

## 1 6. その他の情報

主な引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）ホームページ GHS分類結果データベース

原料メーカーのSDS

国際化学物質安全カード（ICSC）

製品安全データシートの作成指針（改訂版）日本規格協会（2001年10月）

日本工業規格 JIS Z 7253：2012 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

危険物船舶運送及び貯蔵規則 海文堂

記載内容は、現時点で当社が入手した資料・データ等に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

又、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。